

平成 9 年度 発生事故状況 (速報版 . その 1)

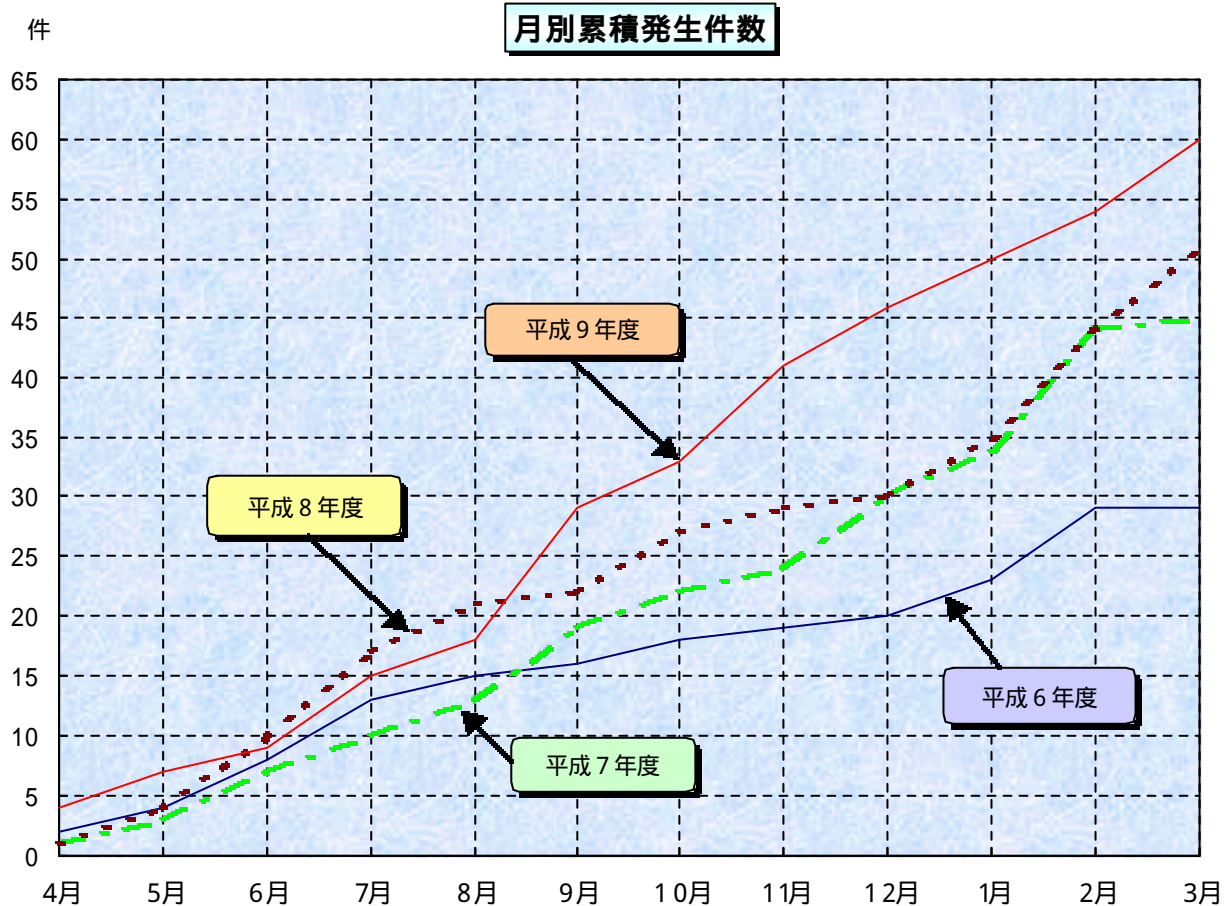
6 0 件 の 事 故 が 発 生 !! (件 数 、 被 災 者 と も 過 去 最 悪)

平成 9 年度の発生事故状況の速報を取りまとめましたので、以下に概要を示します。

平成 9 年度の近畿地建管内における直轄工事関係事故は、60 件と前年度の 51 件に比べて 9 件多くなりました。被災者数（負傷者及び死亡者）は 54 名と前年度の 47 名に比べて 7 名増加しました。

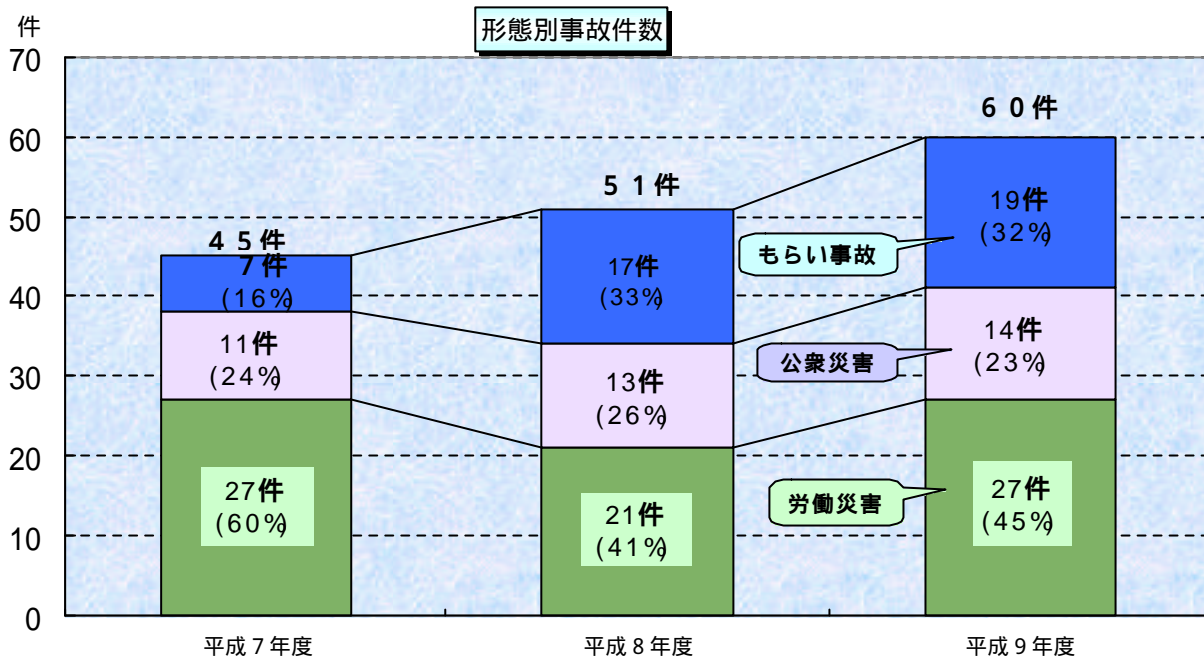
また、死亡者数は、前年度の 8 名から 4 名となりました。

発生事故を月別の発生件数で見ると、9 月に 11 件と 11 月の 8 件が多くなっています。



形態別事故発生件数では、工事作業現場内等で関係作業に起因して工事関係者が被災する「労働災害事故」が 27 件（対前年度比 29% 増）、工事関係作業に起因して第三者（公衆）に損害を及ぼした「公衆災害事故」が 14 件（対前年度比 8% 増）、第三者の行為によって工事関係者が被災若しくは、工事に関係する施設等に損害を受けた「もらい事故」が 19 件（対前年度比 12% 増）となりました。

近年では、「もらい事故」の占める比率が増加の傾向にあります。（次頁図表参照）



注：() は、当該年度の発生件数に占める率を示す。

3月の事故情報

発生日	発生場所	事故の状況
3月5日	兵庫県	道路維持作業において、落下物回収と法面雑木の伐採のため、ハザードと黄色回転灯を点灯し、作業員が降車するため巡回作業車を一時停車させた直後、一般車輛(4トトラック)に追突され、半回転しながら押し出されことから、左前方法面にいた作業員、作業車運転手及び、同乗作業員の計3名が重軽傷を負った。 (普通作業員) 右下腿開放性骨折、骨盤内骨折等 全治60日間 (普通作業員) 胸部、両上下肢打撲 全治7日間 (作業車運転手) 胸部、胸腹部、両上下肢打撲 全治14日間
3月5日	和歌山県	電線共同溝設置において、支道取付部の舗装版を取り壊し、路盤材で埋め戻した後、常温混合材で仮復旧を行い交通を解放していたが、降雨により施工箇所周辺の路面が沈下し、支道中央部の下水道マンホールに段差が生じ、通行した第三者車輛が接触し、損傷した物損事故である。 〔物損〕
3月9日	兵庫県	ランプ法面部において、堅排水工の設置作業中、法面小段で、U型トラフをエンジン式カッターで切断していたところ、トラフ補強筋に刃先が当たり、発生した火粉が法面に飛散し、枯草が燃え出し、火の廻りが速く、約550mの法面と植栽低木約1,400本を消失した。 〔物損 法面556mと植栽低木1,412本が消失〕
3月11日	兵庫県	防護柵設置工事において、片側通行規制を行い、ガードレール基礎の型枠組立作業中、外測線上で誘導中の交通整理員が走行してきた一般車輛を停止させるべく停止合図を送り、無線連絡中、前をよく見ていなかった一般車輛が交通整理員の後方から衝突して交通整理員が負傷した。 〔左腓骨骨折、左脛骨剥離骨折 全治42日間〕
3月19日	大阪府	路面清掃車による道路清掃作業において、高架橋の追越し車線を低速走行で清掃中、一般車輛運転手の前方不注意により路面清掃車の後部に追突したため、清掃車の後部が損傷した。 〔物損〕
3月26日	奈良県	樋門応急対策工事における作業終了時の跡片付けで、使用器材であるバケツを清掃するため、河岸に行き滑り落ち流されたものと考えられる。約1時間半後に約70m下流の橋脚付近でうつ伏せになっているところを発見し、病院に搬送したが死亡が確認された。 〔死亡〕